

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010100		事業の種類	5	
年度	25	事務事業名	芸術文化振興補助金事業		予算事業名	文化振興補助金事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角隆行		担当者名 平野慎司
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	文化団体					
	誰(何)を対象として	市内を活動の基盤とする芸術文化団体					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の芸術文化活動を支援し、本市の芸術文化活動の一層の活性化を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	補助金	円	264000	264000	264000	264000	
	芸術文化活動助成金	円	796000	669000	1090000	1200000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.028	100	0.028	100	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	536,444	523,208	98	532,566	102	549,057	103	
	事業費	1,060,000	933,000	88	1,354,000	145	1,924,000	142	
	合計	1,596,444	1,456,208	91	1,886,566	130	2,473,057	131	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,596,444	1,456,208	91	1,886,566	130	2,473,057	131	
合計	1,596,444	1,456,208	91	1,886,566	130	2,473,057	131		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化協会会員数							
指標説明(式)		人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人数	目標	1100	950	86.4	1000	105.3	1000	100.0	
	実績	975	948	97.2	921	97.2			
指標名2		芸術文化活動助成団体							
指標説明(式)		団体数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
数	目標	6	4	66.7	6	150.0	6	100.0	
	実績	6	4	66.7	7	175.0			

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1720	1704	99.1	1956	114.8	2473	126.4	
	実績	1638	1536	93.8	2048	133.3			

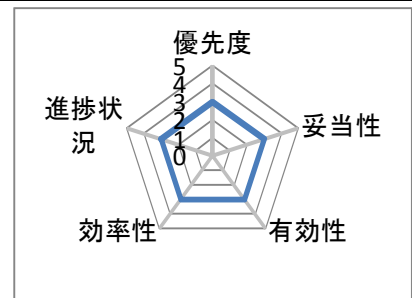
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	より一層の成果を求める	3
	期待する目標	多種多様な芸術文化団体を支援することで、本市の芸術文化活動が活性化し、文化振興の目的を達成できる	
効率性	コストの節減	補助金の適正化を検討していく	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	文化会館活用を視野に団体の活性化が求められる



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	新しい文化会館の開館に向け、団体としての取組みについて検証する。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010200		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	芸術文化活動振興事業		予算事業名	芸術文化活動振興事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	教育委員会学校教育課	
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる			担当課長	能本 英樹	担当者名 森田 敏雄
取組み事項		市民文化活動を振興する			実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒					
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒					
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の文化活動の振興と向上を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		書道・音楽活動等文化活動による近畿大会以上に出場した児童・生徒及び団体に対し、補助金を交付する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	補助金	円					

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.024	-	0.024	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	315,384	306,936	97	501,818	163	516,933	103	
	事業費	0	0	-	0	-	60,000	-	
	合計	315,384	306,936	97	501,818	163	576,933	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	315,384	306,936	97	501,818	163	576,933	115	
合計	315,384	306,936	97	501,818	163	576,933	115		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

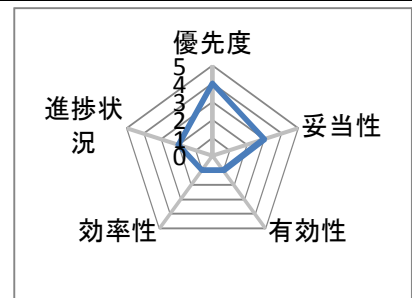
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者の近畿大会以上の出場実績は無い。	1
効率性	執行体制の効率性	適切な体制を整えているが、対象者は無し。	1
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者の近畿大会以上の出場実績無し。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	児童・生徒の芸術文化活動の促進。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	補助事業の実施内容の見直し。

配点	32.5
総合評価	16.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401010300		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角隆行	担当者名	平野慎司
取組み事項		市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(の文化芸術振興)					
	誰(何)を対象として	権威ある大会等において成績が顕著な者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	顕彰を贈呈する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の文化芸術の振興にあたり、権威ある大会等において成績が顕著な者に対し、文化芸術顕彰を贈呈する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	文化芸術顕彰授与						

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-	0.012	-	0.012	100	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	409,574	-	420,561	103	
	事業費			-	14,872	-	60,000	403	
	合計			-	424,446	-	480,561	113	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	424,446	-	480,561	113	
合計			-	424,446	-	480,561	113		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		受賞者数							
指標説明(式)		人数(団体数)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	12	-	12	100.0	
	実績			-	4	-	-	-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

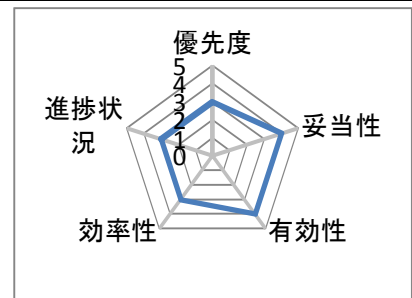
指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-	40047	-	
	実績			-	106112	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	文化活動レベルの向上が期待される	4
	期待する目標	顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となりうる	
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく必要あり



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各文化団体などとの情報共有に努める

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401020100		事業の種類	5			
年度	25	事務事業名	中学生ペーロン推進事業		予算事業名	中学生ペーロン推進事業 優先度		4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち			担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる			担当課長	三宅 淳一		担当者名	堤 琢磨
取組み事項		文化事業を実施する			実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学生							
	誰(何)を対象として	中学生							
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生の伝統文化である「ペーロン」を体験し、ふるさとを愛する心をはぐむとともに、ペーロン船をクラス全員が協力して漕ぐことにより、学級の団結力を高める。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内3中学校1年生によるペーロン体験乗船及びペーロン競漕						
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画		
	中学生参加者数	人	253	261	219	220		

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.060	0.064	107	0.068	106	0.064	94	
	臨時職員	0.000	0.000	-	-	-	-	-	
支出内訳	人件費	789,084	801,272	102	840,046	105	838,173	100	
	事業費	600,000	600,000	100	600,000	100	600,000	100	
	合計	1,389,084	1,401,272	101	1,440,046	103	1,438,173	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	600,000		0	600,000	-	600,000	100	
	一般財源	789,084	1,401,272	178	840,046	60	838,173	100	
合計	1,389,084	1,401,272	101	1,440,046	103	1,438,173	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		中学生参加者数							
指標説明(式)		中学生参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	250	260	104.0	220	84.6	220	100.0	
	実績	253	261	103.2	219	83.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		参加者(中学生)ひとり当りに係る費用							
指標説明(式)		支出合計(人件費含む)÷参加中学生							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	5000	5000	100.0	2727	54.5		0.0	
	実績	5490	2298	41.9	2740	119.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	ペーロンの後継者を作るという点で大変意義がある。	5
効率性	手段の最適性	平日開催であるため、指導員を集めるのに苦勞を要する。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	予定通り達成できた。	4

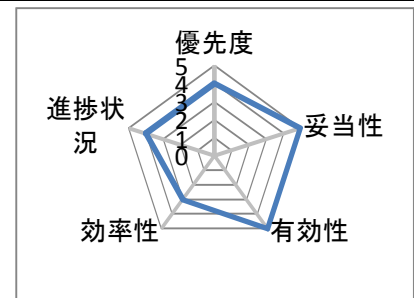
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	実施主体の明確化

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	実施主体の明確化



配点	32.5
総合評価	27.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401020200		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	芸術文化振興事業		予算事業名	文化振興事業	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行		担当者名	岡部 一成
取組み事項	文化事業を実施する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	芸術文化活動					
	意図(どのような状態にしたいのか)	美術展など芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われることにより、こころ豊かな生活が送れる					

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化祭・美術展を実施する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	文化祭	事業	13	15	16	15	
	美術展	回数	1	1	1	1	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.748	0.748	100	0.748	100	0.728	97	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.060	500	0.100	167	
支出内訳	人件費	6,249,008	6,113,324	98	6,213,666	102	6,423,457	103	
	事業費	2,729,350	2,738,770	100	2,727,715	100	2,740,000	100	
	合計	8,978,358	8,852,094	99	8,941,381	101	9,163,457	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	8,978,358	8,852,094	99	8,941,381	101	9,163,457	102	
	合計	8,978,358	8,852,094	99	8,941,381	101	9,163,457	102	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化祭参加者数							
指標説明(式)		参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
実績	目標	3300	3000	90.9	3300	110.0	4000	121.2	
	実績	2574	2933	113.9	4181	142.6			
指標名2		美術展出品数							
指標説明(式)		出品点数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
点数	目標	240	230	95.8	250	108.7	250	100.0	
	実績	222	262	118.0	278	106.1			

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	773	913	118.1	830	90.9	685	82.5	
	実績	1060	933	88.0	652	69.9			

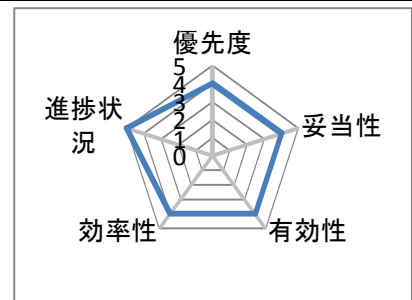
指標名2		出品一点あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷出品数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	11414	11913	104.4	10960	92.0	10960	100.0	
	実績	12294	10453	85.0	9811	93.9			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。	4
効率性	手段の最適性	委託事業という効率的手法	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画どおりに進んでいる	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	事業内容を精査し、委託料の削減を図る



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	市民の文化活動を支援する必要性があり継続するが、新しい文化会館の開館に向けて、各種団体や部門のあり方など事業内容の見直しを検討する

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401030100		事業の種類	2	
年度	25	事務事業名	市民会館管理運営事業		予算事業名	市民会館管理運営事業 優先度	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	財務部財政課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	志茂	担当者名	大壁
取組み事項		文化施設の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		相生市民会館改修工事		相生市民会館維持修繕事業			
根拠法規及び関連法規		相生市民会館条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、団体等					
	誰(何)を対象として	文化的活動の場の提供					
	意図(どのような状態にしたいのか)	文化活動の促進					

2 事業の概要 Do

実施の概要		利用者に活動の場を提供するとともに、適切な施設の維持管理を行う。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	利用者数	人	86896	90174	74248	75000	
	稼働率	%	32.26	31.5	27.15	30	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.385	0.271	70	0.542	200	0.320	59	
	臨時職員	0.330	0.300	91	0.600	200	0.320	53	
支出内訳	人件費	4,129,469	3,121,040	76	5,948,284	191	3,702,749	62	
	事業費	28,868,490	20,888,328	72	25,133,704	120	27,197,000	108	
	合計	32,997,959	24,009,368	73	31,081,988	129	30,899,749	99	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	9,039,000	6,455,892	71	6,012,941	93	6,682,000	111	
	一般財源	23,958,959	17,553,476	73	25,069,047	143	24,217,749	97	
合計	32,997,959	24,009,368	73	31,081,988	129	30,899,749	99		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市民会館利用件数							
指標説明(式)		利用件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
件	目標	2820	2994	106.2	3200	106.9	3000	93.8	
	実績	2994	3126	104.4	2752	88.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		利用者1名にかかるコスト							
指標説明(式)		事業費/利用者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	321	300	93.5	263	87.7	344	130.8	
	実績	344	266	77.3	342	128.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	大ホールが使用停止となった為、利用者数及び件数が減少した。	2
効率性	コストの節減	利用者1名にかかるコストは概ね横ばい状態となっている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	4

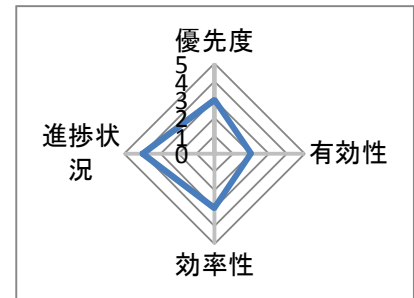
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	利用者数及び件数の減少。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	旧まちづくり交流室と旧消費生活センターを協働のまちづくり拠点として有効活用すべく公募により各種団体に貸し出しを行う。



配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401030200		事業の種類	6		
年度	25	事務事業名	仮称・市民文化会館建設事業		予算事業名	仮称・市民文化ホール建設事業	優先度	5
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課			
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角隆行	担当者名	平野慎司	
取組み事項		文化施設の充実を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	有	
実施計画事業名		仮称・市民文化ホール建設事業 ホール周辺整備事業		仮称・市民文化ホール建設事業(周辺)				
根拠法規及び関連法規		文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)						
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民						
	誰(何)を対象として	全市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が身近に文化芸術に関わることにより、精神的な豊かさや感動を共有し、文化芸術を媒介としたコミュニケーションや地域活動の活発化を促す。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市民会館大ホールは、耐震化を前提としていたが、極度に低い耐震性能のため、耐震化工事が不可能であり、新たな大ホール建設の検討を行った。基本計画検討過程で、市民会館本館機能と一体整備することとなった。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	庁内検討委員会開催	回	5	4	2	2	
	市民会議開催	回	2	5	2	2	
	基本構想・計画策定	件	1	1			
	基本・実施設計策定	件			2		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員		1.320	-	1.280	97	0.880	69	
	臨時職員	1.000	0.480	48	0.480	100	0.080	17	
支出内訳	人件費	2,662,384	11,656,056	438	11,328,370	97	7,593,629	67	
	事業費	0	12,947,556	-	119,083,551	920	881,344,000	740	
	合計	2,662,384	11,797,456	443	130,411,921	1,105	888,937,629	682	
財源内訳	国庫支出金	0		-	30,300,000	-	243,310,000	803	
	県支出金	0		-		-		-	
	市債	0		-		-	529,200,000	-	
	その他	0		-		-		-	
	一般財源	2,662,384	11,797,456	443	100,111,921	849	116,427,629	116	
	合計	2,662,384	11,797,456	443	130,411,921	1,105	888,937,629	682	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会議開催数							
指標説明(式)		市民会議開催件数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	3	10	333.3	3	30.0		0.0	
	実績	2	5	250.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

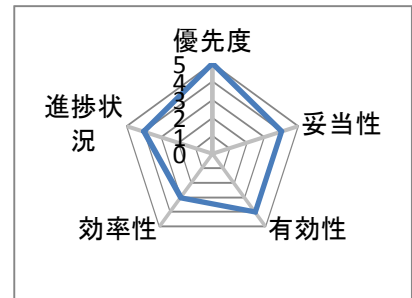
指標名1		基本計画作成コンサル活用							
指標説明(式)		委託料1,292千円×2/5÷コンサルタント協議回数(10回) ※契約期間:平成24年3月5日～7月31日							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	51,680	50,000	96.7		0.0		-	
	実績	162,000	162,000	100.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	市民を中心に繰り広げられるさまざまな自己表現や優れた文化芸術の公演とその観賞、そして講演・講座とその聴講の機会の提供などの諸活動による、世代を超えた感動・喜び・共感・生きがいが発見できる。	4
	期待する目標	市民主体の多彩な事業展開と、地域の絆づくり、まちづくりへの進展。	
効率性	コストの節減	市民会館本館機能との一体的整備によるコストの削減が見込まれる。	3
	手段の最適性	基本計画策定にあたり、策定業務自体は市の作業とし、コンサルタント業務のみ委託とした。プロポーザルにより、適切に設計業者の選定を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	庁内検討委員会・市民会議による基本構想策定を経て、基本計画を策定、更に基本設計に着手した。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	館として機能するために、設備に合わせた経済的かつ効率的な備品等の配置



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	コストの節減	会館施工に伴う備品等の配置について、費用対効果面での検討を行う。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401040100		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	文化財運営事業	予算事業名	文化財事業	優先度	3
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行	担当者名	桑本 健一
取組み事項		文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		感状山城跡保存整備事業					
根拠法規及び関連法規		文化財保護法、相生市文化財保護条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	文化財					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内文化財の保護と活用を図ることが郷土愛につながる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		文化財を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	文化財保護事業(清掃作業等)	件	9	9	9	9	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.140	0.120	86	0.240	200	0.240	100	
	臨時職員	0.092	0.072	78	0.216	300	0.216	100	
支出内訳	人件費	1,636,608	1,406,832	86	2,689,466	191	2,797,461	104	
	事業費	1,274,435	1,510,700	119	1,372,768	91	3,709,000	270	
	合計	2,911,043	2,917,532	100	4,062,234	139	6,506,461	160	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,911,043	2,917,532	100	4,062,234	139	6,506,461	160	
合計	2,911,043	2,917,532	100	4,062,234	139	6,506,461	160		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		感状山城跡入山者数(個人情報の高まりにより、登山名簿に記帳しない者の増加が見られる)							
指標説明(式)		35人(1ヶ月平均)×12ヶ月=420名							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人数	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

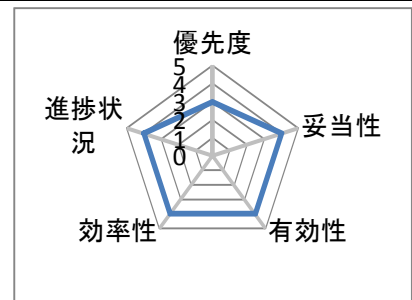
指標名1		人口1人当たりの文化財関連経費							
指標説明(式)		文化財関連事業費÷相生市の人口							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	47	41	87.2	64	156.1	120	187.5	
	実績	41	49	119.5	44	89.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コスト面からみて、これ以上の減額は難しく、成果の維持を保っている	4
	市民サービス	文化財を市民共通の財産として後世へ引継ぐことは市民サービスに不可欠である。	
効率性	コストの節減	事業費削減の中、文化財の維持管理上、必要最低限のところまで切り詰めていることから、これ以上のコスト削減の余地はないと思われる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに伸張している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	市内に残る史跡等の維持管理を行っていく。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	歴史講座や史跡めぐりを開催や資料館ホームページから、広く市民に文化財をPRしていく。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401040300		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	資料館管理事業	予算事業名	資料館管理事業	優先度	5
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	西角 隆行	担当者名	桑本 健一
取組み事項		文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		資料館活性化サポート事業					
根拠法規及び関連法規		相生市立歴史民俗資料館条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	歴史民俗資料館					
	意図(どのような状態にしたいのか)	郷土資料の収集、保存、活用を図ることが郷土愛につながる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		郷土資料を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	資料館管理事業(特別展の開催)	回	2	2	2	2	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.064	0.066	103	0.330	500	0.330	100	
	臨時職員	0.132	0.035	27	0.514	1,469	0.514	100	
支出内訳	人件費	1,130,468	900,825	80	4,108,714	456	4,273,297	104	
	事業費	859,788	480,989	56	966,961	201	3,149,000	326	
	合計	1,990,256	1,381,814	69	5,075,675	367	7,422,297	146	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,990,256	1,381,814	69	5,075,675	367	7,422,297	146	
合計	1,990,256	1,381,814	69	5,075,675	367	7,422,297	146		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		資料収集状況							
指標説明(式)		年度内に受け入れた資料数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
点	目標	120	120	100.0	120	100.0	120	100.0	
	実績	118	92	78.0	166	180.4			
指標名2		1ヶ月当たりの入館者数							
指標説明(式)		入館者数÷12ヶ月							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	100	80	80.0	80	100.0	100	125.0	
	実績	64	40	62.5	102	255.0			

【効率性】

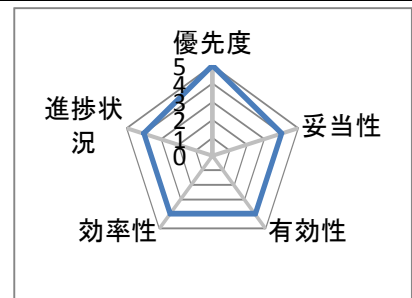
指標名1		資料館入館者1人当たりにかかった経費							
指標説明(式)		資料館事業費÷入館者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	600	1000	166.7	1300	130.0	1000	76.9	
	実績	1120	998	89.1	794	79.6			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	郷土資料を市民共通の財産として、後世に引き継ぐことは不可欠である。	4
効率性	コストの節減	図書館同様に窓口業務の民営化を図り、人件費を中心にコスト削減を行い、必要最小限の経費維持を継続中である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	収蔵庫にある寄贈を受けた貴重な資料を展示することで資料の有効活用を図る。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	歴史民俗資料館の展示物の入替を行う。

配点	32.5
総合評価	28

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010401050100		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	国際交流事業		予算事業名	国際交流事業	
優先度					優先度	4	
まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課			
施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	松尾 次郎	担当者名	炭田 哲也	
取組み事項	多文化共生を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	外国籍市民を含めたすべての市民					
	誰(何)を対象として	外国籍市民を含めたすべての市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が国際化の意識を高めるとともに、外国人が安心して暮らせるようにする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生市国際交流協会による委託事業 (食を通じた国際交流事業、市内在住外国人との交流・支援事業)					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	国際理解講演会	人	21	40	12	30
	食文化交流会	人	27	28	33	40
	定例会	人	78	58	39	50
	日本語教室(養成講座)	人	-	(32)	122	150

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.144	0.144	100	0.240	167	0.232	97	
	臨時職員	0.020	0.040	200	0.040	100	0.020	50	
支出内訳	人件費	1,499,204	1,515,312	101	2,259,850	149	2,237,921	99	
	事業費	200,000	180,000	90	180,000	100	300,000	167	
	合計	1,699,204	1,695,312	100	2,439,850	144	2,537,921	104	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	200,000	180,000	90	180,000	100	300,000	167	
	一般財源	1,499,204	1,515,312	101	2,259,850	149	2,237,921	99	
合計	1,699,204	1,695,312	100	2,439,850	144	2,537,921	104		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国際交流協会事業							
指標説明(式)		事業数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	3	3	100.0	3	100.0	5	166.7	
	実績	3	3	100.0	4	133.3			
指標名2		国際交流事業参加者数							
指標説明(式)		国際交流協会主催による事業への参加者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	220	150	68.2	222	148.0	270	121.6	
	実績	126	158	125.4	288	182.3			

【効率性】

指標名1		事業参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		総事業費÷事業参加者							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	-	-	-	-	-	9,400	-	
	実績	13,486	10,730	79.6	8,472	79.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	イベントを通じて市民と市内在住の外国人との交流を促進し、支援の必要な外国人に対しては日本語教室を行うことで生活環境の向上が図れた。	4
	市民サービス	講演会や交流事業を行うことで異国の文化に触れ、市民にとって国際理解を深める機会となっている。また市内在住の外国人に対して日本語学習の場を提供することで、サービスの向上につながっている。	
効率性	コストの節減	事業の増加に伴い人件費が増加しているものの、参加者一人あたりのコストとしては減少している。	4
	手段の最適性	国際交流協会及びボランティアスタッフと協力し、事業を進めることが現状では最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	多文化共生に向けて概ね計画通りに進捗している。	4

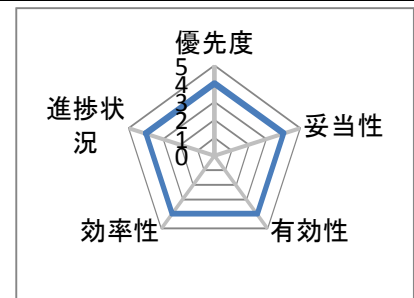
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	事業あたりの参加者数が減少傾向にある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	市民ニーズに合った事業内容を検討したい。



配点	32.5
総合評価	26